

ソフォス・ケイマン・トラストⅡ -

米ドル建 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式 オープン

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

米ドル建 米ドルヘッジクラス受益証券
米ドル建 為替ヘッジなしクラス受益証券

交付運用報告書

作成対象期間 第4期
(2022年3月1日～2023年2月28日)

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイトの投資信託情報ページ(<https://www.morganstanley.co.jp/ja/legal-notices/foreignfund.html>)にて電磁的方法により提供しております。

サブ・ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

ファンドロジック(ジャージー)リミテッド

代行協会

モルガン・スタンレーMUFGE証券株式会社

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、ソフォス・ケイマン・トラストⅡ - 米ドル建モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(以下「サブ・ファンド」といいます。)

は、このたび、第4期の決算を行いました。

サブ・ファンドの投資目的は、世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式への投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指すことです。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第4期末		
	1口当たり 純資産価格	純資産価額
米ドル建 米ドルヘッジクラス	126.82米ドル	208,109,495.13米ドル
米ドル建 為替ヘッジなしクラス	123.10米ドル	171,521,367.92米ドル
第4期		
	騰落率	1口当たり 分配金合計額
米ドル建 米ドルヘッジクラス	-7.58%	該当事項はありません。
米ドル建 為替ヘッジなしクラス	-9.59%	該当事項はありません。

(注)騰落率は、1口当たり純資産価格に基づき計算しています。以下同じです。

《運用経過》

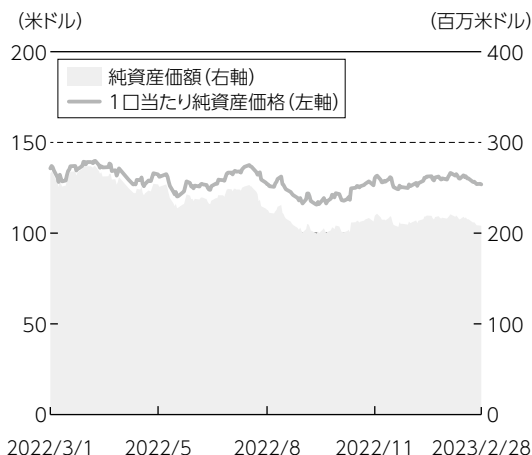
【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】

(注1) サブ・ファンドは分配を行わない方針であり、分配金の支払実績もないため、課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を記載していません。以下同じです。

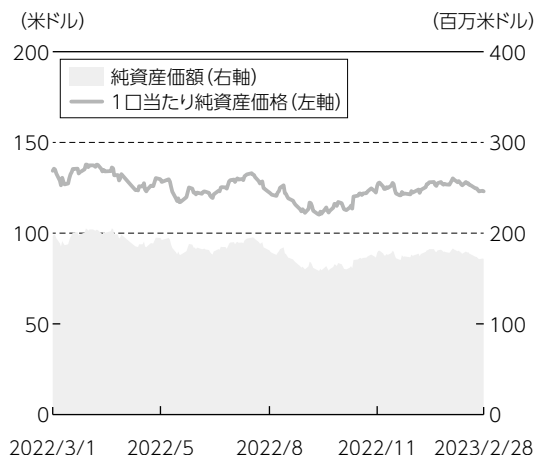
(注2) サブ・ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。以下同じです。

(注3) サブ・ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。以下同じです。

米ドル建 米ドルヘッジクラス



米ドル建 為替ヘッジなしクラス



	第3期末の 1口当たり純資産価格:	第4期末の 1口当たり純資産価格:	第4期中の1口当たり 分配金合計額:	騰落率:
米ドル建 米ドルヘッジクラス	137.22米ドル	126.82米ドル	該当事項はありません。	-7.58%
米ドル建 為替ヘッジなしクラス	136.16米ドル	123.10米ドル	該当事項はありません。	-9.59%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

- 1口当たり純資産価格の上昇に貢献した主な銘柄はLVMH モエヘネシー・ルイヴィトン(フランス・高級品)、SAP (ドイツ・ソフトウェア)、オートマチック・データ・プロセッシング(米国・人事関連の業務委託)、ビザ(米国・クレジットカード)、オーチス・ワールドワイド(米国・エレベーター)で、一方で減少させた主な銘柄は、バクスター・インターナショナル(米国・ヘルスケア機器・サービス)、マイクロソフト(米国・ソフトウェア)、レキット・ベンキーザー(英国・家庭用品・パーソナル用品)、フィデリティ・ナショナル・インフォメーション・サービス(米国・ソフトウェア)、インターコンチネンタル・エクステンジ(米国・取引所や債券データ)でした。

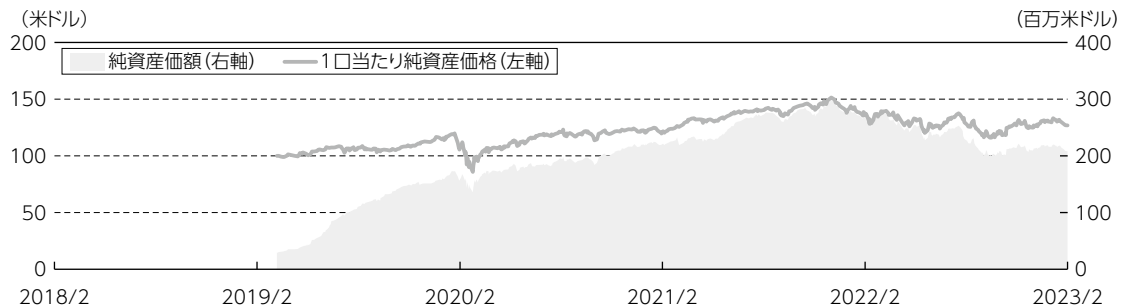
【費用の明細】

項目	項目の概要	
管理報酬	純資産価額の年率0.11%(四半期毎に後払い)	信託証書に定める管理会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。
投資運用報酬	純資産価額の年率0.65%(四半期毎に後払い)	投資運用契約に基づく投資運用業務の対価として、投資運用会社に支払われます。
投資顧問報酬	純資産価額の年率0.25%(四半期毎に後払い)	投資顧問契約に基づく投資顧問業務の対価として、投資顧問会社に支払われます。
受託報酬	純資産価額の年率0.01%(四半期毎に後払い)	信託証書に基づく受託業務の対価として、受託会社に支払われます。
管理事務代行報酬 (名義書換事務代行報酬を含みます。)	純資産価額の以下の料率(月間最低報酬5,500米ドル)。 5億米ドル以下の部分： 年率0.08% 5億米ドルを超えて10億米ドル以下の部分： 年率0.07% 10億米ドルを超える部分： 年率0.06%	管理事務代行契約に基づく管理事務代行業務および名義書換事務代行業務の対価として、管理事務代行者会社兼名義書換事務代行者会社に支払われます。
保管報酬	保管会社は、合意済みの市場毎の取引手数料・資産保管料の支払を受領する権利を有します。	保管契約に基づく保管業務の対価として、保管会社に支払われます。
代行協会員報酬	純資産価額の年率0.05%(四半期毎に後払い)	受益証券1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を日本における販売会社に送付する等の業務の対価として、代行協会員に支払われます。
販売報酬	純資産価額の年率0.65%(四半期毎に後払い)	投資者からの申込みまたは買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、日本における販売会社に支払われます。
その他の費用(当期)	0.03%	サブ・ファンドの設立に関する費用、投資関連費用、運営費用(弁護士に支払う開示書類の作成・届出業務等に係る報酬および監査人等に支払う監査に係る報酬等を含みます。)、およびその他すべての管理費用として支払われます。

(注)各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をサブ・ファンドの財務書類に記載された当期末の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】

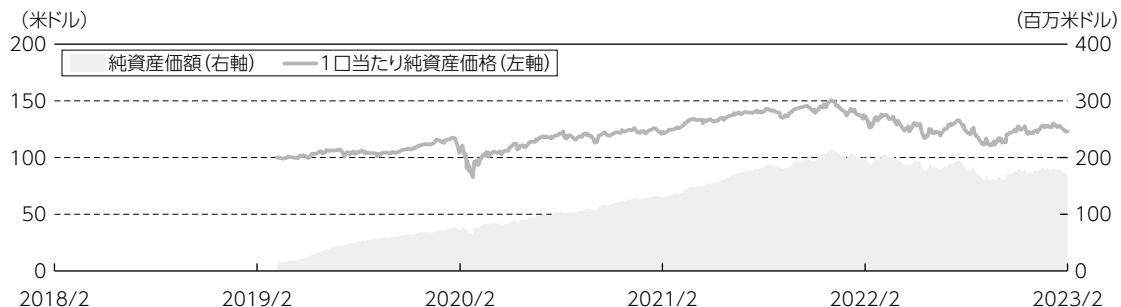
米ドル建 米ドルヘッジクラス



	第1期末 2020年2月28日	第2期末 2021年2月26日	第3期末 2022年2月28日	第4期末 2023年2月28日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	105.53	119.74	137.22	126.82
1口当たり分配金額 (米ドル)	-	-	-	-
騰落率 (%)	5.53	13.47	14.60	-7.58
純資産価額 (米ドル)	156,264,198.98	217,485,571.65	268,557,232.77	208,109,495.13

(注) サブ・ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。以下同じです。

米ドル建 為替ヘッジなしクラス



	第1期末 2020年2月28日	第2期末 2021年2月26日	第3期末 2022年2月28日	第4期末 2023年2月28日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	104.02	120.93	136.16	123.10
1口当たり分配金額 (米ドル)	-	-	-	-
騰落率 (%)	4.02	16.26	12.59	-9.59
純資産価額 (米ドル)	70,258,147.40	128,111,929.71	198,859,376.50	171,521,367.92

【投資環境について】

- ・2022年2月下旬に始まったウクライナ戦争を受けた資源価格上昇やサプライチェーン悪化によるコスト上昇でインフレが加速したため、3月に始まった米国政策金利の引き上げが予想以上に長く大幅となり、株式市場の逆風になりました。エネルギー価格や金利の上昇が業績向上要因となるため、エネルギー、資本財・サービス、金融セクターが主にアウトパフォームしました。一方で、金利上昇が成長期待の高い銘柄の下落要因となる事からコミュニケーション・サービス、一般消費財・サービス、不動産、情報技術セクターがアンダーパフォームとなりました。

【ポートフォリオについて】

- ・当期においては、金利環境変化の影響を受け難い富裕層需要の恩恵を受けるLVMH モエヘネシー・ルイヴィトン、2020年10月の急落からの回復過程にあるSAP、金利上昇で潤沢な手元資金からの利息収入が増えるオートマチック・データ・プロセッシングなどの上昇がポートフォリオのプラスに寄与しました。
- ・一方で、コロナ禍による病院の通常業務の低迷が業績悪化要因となり、更に2023年1月には一部事業の売却計画で優位性劣化が懸念されたバクスター・インターナショナル、金利上昇で割高感が強まったマイクロソフトなどはポートフォリオにとってマイナスとなりました。
- ・当期中の新規組入銘柄はCDW、エーオンで、売切り銘柄はフィデリティ・ナショナル・インフォメーション・サービスズ、エステローダーでした。

【分配金について】

該当事項はありません。

《今後の運用方針》

今後も世界各国の株式に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。当ファンドの運用については、引き続き、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行います。銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行います。

《お知らせ》

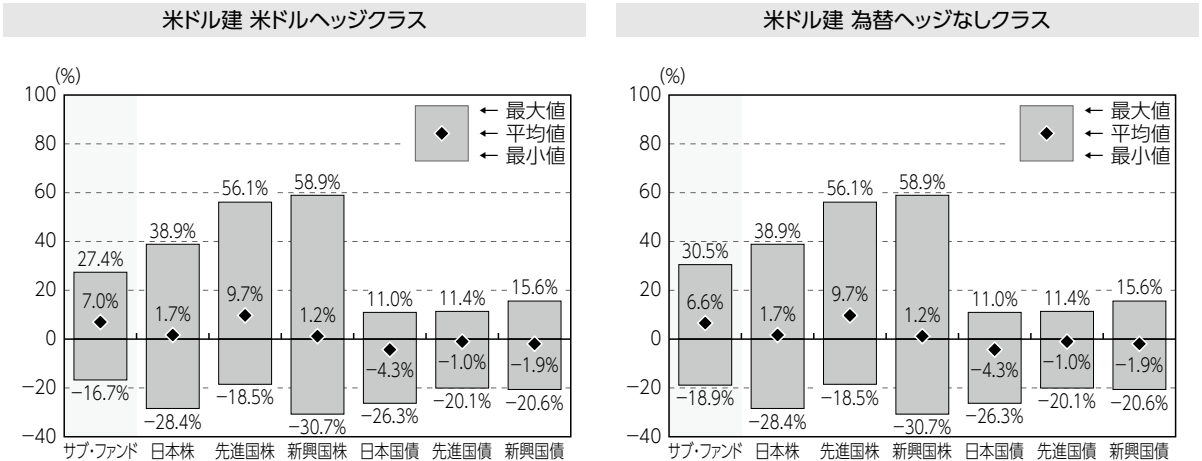
該当事項はありません。

《サブ・ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型
信託期間	サブ・ファンドは、2019年4月5日に運用を開始し、原則として2029年2月28日に終了します。ただし、定められた方法により早期に終了することがあり、または、管理会社が受託会社と協議の上管理会社の裁量により、もしくは管理会社および受託会社の同意の上サブ・ファンドの受益者決議により、存続期間を延長することがあります。
運用方針	サブ・ファンドの投資目的は、世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式への投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指すことです。
主要投資対象	世界のプレミアム企業の株式
サブ・ファンドの運用方法	世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底的なボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析します。 収益性、財務内容の分析に加え、保有する無形資産や経営陣の質などから利益成長の持続可能性を多面的に分析します。 原則として、厳選した20～40銘柄に集中投資を行います。 「米ドル建 米ドルヘッジクラス」は、原則として米ドル建て資産以外の資産に対して為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。 「米ドル建 為替ヘッジなしクラス」は、原則として為替ヘッジを行いません。
分配方針	分配は行わない方針です。

(参考情報)

● サブ・ファンドと他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較



(出所) 指数提供会社のデータを基にアンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業が作成

※全ての資産クラスがサブ・ファンドの投資対象とは限りません。

※サブ・ファンドについては2020年4月から2023年6月の、また他の代表的な資産クラスについては2018年7月から2023年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

※このグラフは、サブ・ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

<各資産クラスの指数>

米ドル建 米ドルヘッジクラスおよび米ドル建 為替ヘッジなしクラス

日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSA1指数 (配当込) (米ドルベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (米ドルベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (米ドルベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (米ドルベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (米ドルベース)

※日本株の指数は、各月末時点の為替レートにより米ドル換算しています。

《ファンドデータ》

【サブ・ファンドの組入資産の内容】

● 組入上位資産

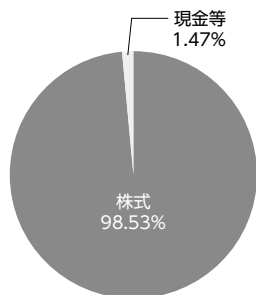
(組入銘柄数: 33銘柄)

(2023年2月28日現在)

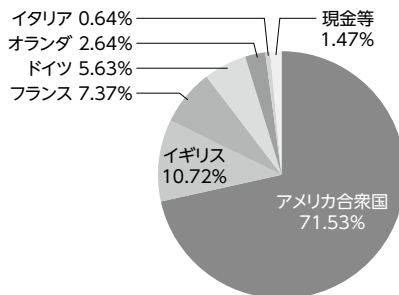
	組入比率
MICROSOFT CORP	9.24%
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	7.28%
VISA INC-CLASS A SHARES	6.33%
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	5.80%
SAP SE	5.63%
DANAHER CORP	5.05%
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	4.55%
ACCENTURE PLC-CL A	4.52%
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	3.92%
ABBOTT LABORATORIES	3.62%

(注) 組入比率は純資産価額に対する当該組入資産の評価額の割合です。端数調整方法の相違により、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。以下の各グラフも同様です。

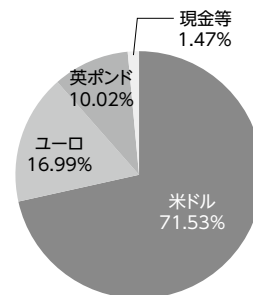
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注2) 上記の比率は、純資産価額に対する当該資産の金額の割合を四捨五入して記載しています。したがって、合計の数字が100%とまらない場合があります。

【純資産等】

第4期末			
	純資産価額	発行済口数	1口当たり純資産価格
米ドル建 米ドルヘッジクラス	208,109,495.13米ドル	1,641,043.380口	126.82米ドル
米ドル建 為替ヘッジなしクラス	171,521,367.92米ドル	1,393,321.900口	123.10米ドル

(単位:口)

第4期中			
	販売口数	買戻口数	発行済口数
米ドル建 米ドルヘッジクラス	204,368.505 (204,368.505)	520,462.755 (520,462.755)	1,641,043.380 (1,641,043.380)
米ドル建 為替ヘッジなしクラス	276,566.638 (276,566.638)	343,727.908 (343,727.908)	1,393,321.900 (1,393,321.900)

(注) ()の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。